

科目名	現代文 B	単位数	3	必修選択	必修
教科書	現代文 B(第一学習社)				
副教材	カラー版 新国語便覧(第一学習社) 常用漢字ダブルクリア(尚文出版) よむナビ現代文3(いっずな書店) 読解現代文必携 キーワードの卵(尚文出版)				

### 教科・科目の内容

近代以降の様々な文章の読解を通して、文章を的確に理解する能力、適切に表現する能力を高めることをねらいとします。その上で思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育み、世界を豊かに認識していこうとする態度を身に付けていきます。

### 日常生活や将来とのつながり

人は言葉がないと考えることはできないとよく言われます。

言葉がなければ自分の思いを相手に伝えることも十分にはできません。たとえ、どんなに深い思いがあったとしても、言葉なしには伝える術が足りません。

桜の花が刹那に散りゆくわびしさや切なさ、また、そこから生まれる美しさについて書かれた文章を読んで以来、自分の中の桜を見る思いが変わったという人がいます。言葉、表現、視点を知ることで、世界の見え方は変わります。豊かな世界が開けてきます。

国語を勉強することの意味というのは、そして楽しさも、きっとそこにあるのです。

### この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

- ・とことんまで自分自身で考えること。
- ・本文を毎時間読んでから、授業に臨むこと。
- ・こまめに辞書を引く、語彙を増やす努力をすること。

### 到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

### 評価の観点(評価方法)

#### ① 関心・意欲・態度(発言・グループ活動(観察)・感想文)

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

#### ② 話す・聞く能力(発言・グループ活動(観察)・スピーチ)

目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。

#### ③ 書く能力(感想文・要約文・定期テスト)

相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。

#### ④ 読む能力(発言・グループ活動(観察)・定期テスト)

文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。

#### ⑤ 知識・理解(漢字テスト・定期テスト・学習シート)

伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
3年	現代文B	3	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)	カラー版 新国語便覧(第一学習社) 常用漢字ダブルクリア(尚文出版) よむナビ現代文3(いっぴな書店) 読解現代文必携 キーワードの卵(尚文出版)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点				
			関	話	書	読	知
一学期	<b>評論(近代・時間論)</b> 『自明性の畏』からの解放 見田宗介 <b>評論(自我・アイデンティティ)</b> 「自他の『間合い』」 鷺田清一	<ul style="list-style-type: none"> <li>論の構成や展開、構造を意識して読み取る。</li> <li>「近代」とその時間感覚についての知識を持ち、理解を深める。</li> <li>「自明性の畏」について、自らに置き換えてみる。</li> <li>アイデンティティの確立における他者の重要性を理解する。</li> <li>筆者の言う「間合い」について、その重要性を理解する。</li> <li>本文の趣旨を理解し、要約文や意見文を書く。</li> </ul>	○	○		○	○
	※ 中間試験					○	○
	<b>小説</b> 「山月記」中島敦 <b>詩</b> 「わたしが一番きれいだったとき」 茨木のり子 (進度によっては『集合知』という考え方に換える)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説に描かれた情景、人物、心情を読み味わう。</li> <li>李徴の告白から、そこで語られた李徴の内面を正しく読み取る。</li> <li>作品の主題について話し合ったり、文章にまとめたりする。</li> <li>詩の鑑賞のしかたを習得する。</li> <li>繰り返しの表現に込められた作者の心情について考える。</li> </ul>	○	○	○	○	○
	※ 期末試験					○	○
	<b>評論(コミュニケーション・情報)</b> 『集合知』という考え方 西垣通	<ul style="list-style-type: none"> <li>論の構成や展開、構造を意識して読み取る。</li> <li>筆者の合意形成に対する考えを理解し、自らの学習に活かす。</li> <li>コンピュータと人間の関わりについて考え、意見文を書く。</li> </ul>	○		○	○	○
二学期	<b>評論(文明論・環境)</b> 「存在としての建築」 隈研吾 <b>評論(芸術論)</b> 「手の変幻」 清岡卓行	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を読んで、文明と環境との関わりについて理解を深める。</li> <li>筆者の論を参考に、「人間の本当の豊かさ」について話し合う。</li> <li>着眼の鋭さや具体から抽象へと深まる論の展開を読み味わう。</li> <li>筆者の論を参考に、「手」の持つ意味や「芸術」のあり方について考え、文章にまとめる。</li> </ul>	○	○		○	○
	※ 中間試験					○	○
	<b>小説</b> 「こころ」 夏目漱石 <b>詩</b> 「永訣の朝」 宮沢賢治 (進度によっては「注連縄」に換える)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「私」の告白を読み、語られた出来事と心情を正しく読み取る。</li> <li>Kが自殺を図るまでの過程を把握し、話し合ったり文章にまとめたりする。</li> <li>「明治の精神」について理解し、自らの生き方と照らして考える。</li> <li>詩にこめられた作者の思いについて理解を深める。</li> <li>宮沢賢治の作品や生き方について話し合う。</li> </ul>	○	○	○	○	○
	※ 期末試験					○	○
	<b>実用の文章</b> 「注連縄」 柳宗理	<ul style="list-style-type: none"> <li>実用的な文章に書かれた内容を読み取り、まとめる。</li> </ul>	○		○	○	○
三学期	<b>小説</b> 「葉桜と魔笛」 太宰治 <b>評論(文化論・グローバル化)</b> 『「グローバル化」の中の異文化理解』 住原則也	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の語りリズムや表現の工夫について読み味わう。</li> <li>「口笛」の主は誰だと考えられるか、意見を語り合う。</li> <li>「回想」で書かれていることの効果を考え、文章にまとめる。</li> <li>グローバル化の持つ「個別化」という側面を理解する。</li> <li>グローバル化の「二つの側面」を理解し、異文化理解について話し合う。</li> </ul>	○	○	○	○	○
	※ 学年末試験					○	○

備考

授業の様子で、進度を調整したり、教材を入れ替えたりすることがあります。